

逢隈橋



発注者 福島県

形式 鋼単純鈹桁橋＋鋼下路式ローゼ桁橋

橋長 163.205m（支間長：29.800m＋130.000m）

有効幅員 8.00m（車道）＋2.30m（歩道）

鋼重 69.1t＋1046.5t

架設工法 ケーブルクレーンベント工法＋ケーブルクレーン直吊工法

完工 平成27年11月

- 特徴
- ・本工事は、昭和33年に架設された阿武隈川を跨ぐ逢隈橋が老朽化し、また、幅員が狭いことで交通に支障をきたしていることから、安全で円滑な交通を確保することを目的とした架替工事である。
 - ・鉄塔設置位置は橋台背面の盛土部で計画されていたが、吊下げ荷重が約1270tであり、盛土部では鉄塔反力による所要地耐力を確保することが不可能であると予想されたことから、鉄塔基礎を堅固な地山に設置できるよう鉄塔支間を193.2mから228.2mへ変更した。
 - ・従来鉄塔設備として使用してきた850口鉄塔材ではなく、箱断面形式の新型鉄塔設備を使用してケーブルクレーンによる架設を実施した。